

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

平成19年度技術情報第12号(イチゴのうどんこ病) について (送付)

イチゴのうどんこ病について情報を取りまとめましたので送付します。

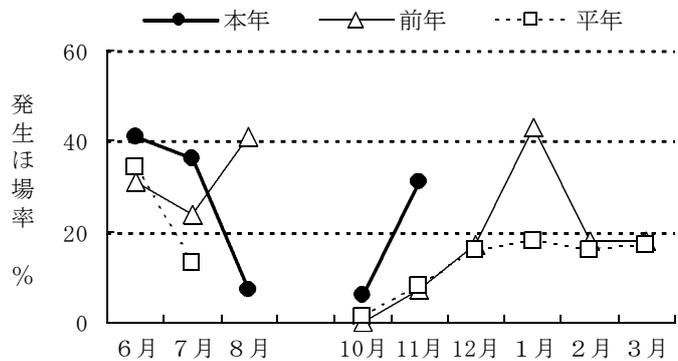
イチゴのうどんこ病の発生が急増しています。今後多発する恐れがありますので、防除を徹底してください。

- 1 農作物名 イチゴ
- 2 病害虫名 うどんこ病
- 3 予報内容
  - (1) 発生地域 県本土
  - (2) 発生量 多
- 4 情報の根拠

- (1) 11月の巡回調査では、発生ほ場率は31% (平年8%) と平年より高く、発生程度も高かった。
- (2) 向こう1か月の天候は、平年と同様に晴れの日が多いと予報されている。

表. うどんこ病の発生状況

調査場所	調査ほ場数	発生ほ場数
日置市伊集院町中川	4	3
さつま町湯田・平川	5	1
志布志市有明町野神	7	1
計	16	5 (31%)



5 防除上注意すべき事項

- (1) 本病は上位葉の裏面に発生しやすいので、葉裏をよく観察し早期発見と初期防除に努める。
- (2) 発生ほ場では治療効果のある薬剤を約7日おきに散布し、菌密度の低下を図る。その後病勢の進展が抑えられたら、予防効果のある薬剤を中心に予防散布する。
- (3) 薬剤は古葉や発病葉を除いた後、葉裏や下位葉に十分かかるよう散布する。
- (4) 同一系統薬剤の連用を避け、作用性の異なる薬剤のローテーション散布に努める。
- (5) 薬剤の使用に当たっては、使用回数等の使用基準を厳守する。